

(第2回)長浜市道路整備アクションプログラム策定懇話会 会議録

日時：令和2年1月9日(木) 14:30から

場所：ながはま文化福祉プラザ1階 1C会議室

1. 出席者 別紙のとおり
2. 傍聴者 1名
3. 取 材 なし
4. 内 容 以下のとおり

事務局	開会
	●あいさつ 田中課長(道路河川課)
事務局	●委員紹介
事務局	●座長あいさつ
座長	座長 : 立命館大学 塚口特任教授 塚口座長あいさつ
事務局	●会議の公表について  議事について公開とする。  (傍聴者1名)
事務局	●議事 議事に対応した資料説明を事務局より行い、次のとおり質疑回答を行った。  1. 第1回懇話会における質疑事項の整理および補足説明 2. 評価指標に係るアンケート結果について
	●質疑応答  [質疑] 質疑なし
事務局	●議事 議事に対応した資料説明を事務局より行い、次のとおり質疑回答を行った。  3. 長浜市道路整備 AP 対象路線の判定基準について 4. 対象路線の1次評価結果について
	●質疑応答  [質疑] ○対象路線の一次評価結果の表にある数値、および関連計画や道路区分に記載の用語についてわかりやすい表現や、定義を明確にすべきではないか。
委員	

委員	○一次評価により長期までに位置づけられた路線と、位置づけられない路線の判断を明確にするべきではないか。
座長	○今回の評価プロセスを説明する必要がある。
委員	○道路整備の実現性の評価指標の一つである「用地取得や建物補償が進んでいる」の判定基準にある定義や閾値について再検討してはどうか。
座長、委員	○評価指標の定義や判定基準にある「歩行者・自転車の通行確保」や「バイコロジー」という表現をわかりやすい言葉にしてはどうか。
委員	○関連計画について、国・県の計画であるのか、市の政策であるのか、明確化した方がよいのではないか。
座長	○費用便益比は、評価を出すためにどのように扱っているのか。
事務局	<p>[回答]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の数値や用語について、わかりやすい表現、定義を明確にするように配慮する。</li> <li>・評価プロセスのわかるフロー図等を作成する。</li> <li>・評価指標の一つ「用地取得や建物補償が進んでいる」の定義、閾値について再検討する。</li> <li>・ご指摘の評価指標の表現について再検討する。</li> <li>・関連計画について、国・県の計画と、市の政策を明確化する。</li> <li>・費用便益比は、長期まで位置づける路線評価には一切扱っていない。ただし、幹線道路のように交通容量が増加する路線については、確認のため、その数値を把握した。今後、この出し方について検討する。</li> </ul>
事務局	<p>●議事</p> <p>議事に対応した資料説明を事務局より行い、次のとおり質疑回答を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 評価フロー、長浜市道路整備 AP 対象路線数および地区別路線数について</li> <li>6. 今後のスケジュールについて</li> </ol>
	<p>●質疑応答</p> <p>[質疑]</p>
座長	○座長としては、次回の第3回懇話会を開催したほうがよいと考えるが、どのようにするか。
委員	○確認することは専門分野の内容であるので、座長及び事務局に一任してはどうかと思う。
座長	<p>[回答]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員の意見を踏まえ、第3回懇話会は開催せず、今後の修正は座長の確認を経て、各委員に報告したものをパブリックコメントに諮るものとする。</li> <li>ただし、どこまでの路線が長期に位置づけられているのがよいか、市民目線で重要なのか、という最終判断は各委員にみていただくことにする。</li> </ul>
事務局	<p>閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定までのスケジュールは、本日の結果を踏まえた修正について座長に確認をいただき、その結果を委員の皆様へ報告したうえで、パブリックコメントを進めていく予定とする。</li> <li>・その後の策定までのスケジュールは今後、連絡する。</li> </ul>